科目名: 看護技術論Ⅴ	必修	1単位(45時間)
(Fundamentals of Nursing Skill Ⅴ)		

履修年次/時期: 2年次 前期　　授業形態: 講義,演習

主担当教員: 飯塚 雅子

主担当教員詳細: 実務経験 看護師6年7か月:実務経験から、診療補助技術は対象者への身体侵襲度が高く 手技の正確さが求められることに加え、患者の不安や気持ちを考えることができる授業を行っていく。

担当教員名: 永井 朋子, 北村 容子

学修目的

1年次での日常生活支援技術の学習を経て、診療補助業務に関わる技術を学修する。その中で、日進月歩の最新医療技術に対応できる能力を養い、さらには身体侵襲度が高くより安全性が要求される技術も学んでいく。

関連するCP: CP2,CP3,CP4　　科目No. KNz-203

この科目が目的としているDP

1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
	(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
	(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
	(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
	(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
	(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○

◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP
○: この講義・演習・実習と関連があるDP

到達目標

①ヒューマンエラーによる事故の発生要因がわかり、事故防止の基本について述べることができる。
②おもな医療事故(転倒・転落、チューブ・ライントラブル、誤薬、放射線・薬剤曝露)の定義と要因、対策について述べることができる。
③感染成立の条件および感染防止の基本について述べることができる。
④感染予防における看護師の責務と役割について述べることができる。
⑤さまざまな感染予防行動を原理・原則に沿って実施できる。
⑥罨法の目的および方法がわかり、原理・原則に沿って実施できる。
⑦摘便・浣腸および導尿の目的・方法がわかり、原理・原則に沿って実施できる。

授業概要

診療に伴う対象の苦痛や不安を理解し、安心して診療を受けられるような知識や技術を学ぶ。苦痛の緩和、安全の確保、創傷管理、感染防止、排泄の援助を学ぶ。

評価方法

筆記試験　80%
課題　　20%(①飯塚、②飯塚、③横正、④北村 各5点×4課題) 詳細は授業内で提示する。
試験に対するフィードバックは掲示で行う。

予習・復習時間

【予習】0.5時間
【復習】0.5時間

教科書

系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 医学書院
系統看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院
系統看護学講座 基礎看護学④ 臨床看護総論 医学書院
根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 任 和子ほか、医学書院

参考書

必要時、提示する。

オフィスアワー連絡先

飯塚 雅子　3号館3階研究室　iizuka.masako@kdu.ac.jp　不在時はメールでお願いします
永井 朋子　3号館3階研究室　t.nagai@kdu.ac.jp　同上
北村 容子　3号館3階共同研究室　y.kitamura@kdu.ac.jp　同上

実施回	第1回	実施日	2026/05/01（金）	時限	2	班	
授業計画	安全確保の技術（1） ①ヒューマンエラーによる事故の発生要因を理解し、事故防止策の基本がわかる。 課題①：内容、提出日時は授業内で提示する（5点）	予習	基礎看護技術Ⅱ第14章Aを読み、分らない言葉を調べる。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画の視聴をする。				
		キーワード	ヒューマンエラー、リスクマネジメント、ヒヤリ・ハット、医療事故、医療過誤、ハインリッヒの法則、スイスチーズモデル、KYT				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実施回	第2回	実施日	2026/05/01（金）	時限	3	班	
授業計画	安全確保の技術（2） ①主な医療事故の要因と対策がわかる。 ②事故防止のために組織として講じるべき対策がわかる。	予習	基礎看護技術Ⅱ第14章B、Cを読み、分らない言葉を調べる。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	誤薬の防止、患者誤認の防止、転倒・転落の防止、療養環境の危険、チューブ・ライントラブルの予防と対策、薬物被曝、放射線被曝				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実施回	第3回	実施日	2026/05/11（月）	時限	3	班	
授業計画	感染防止の技術（1） ①感染経路と経路別予防策がわかる。 ②感染予防における看護師の責務と役割がわかる。 ③洗浄・滅菌・消毒の種類と方法がわかる。 課題②：内容、提出日時は授業内で提示する（5点）	予習	基礎看護技術Ⅱ第13章A、B、C、Dを読み、分らない言葉を調べる。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	感染の成立と予防、標準予防策（スタンダードプリコーション）、感染経路別予防策、滅菌と消毒、洗浄				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実施回	第4回	実施日	2026/05/11（月）	時限	4	班	
授業計画	感染防止の技術（2） ①滅菌物の取り扱い方がわかる。 ②感染性廃棄物の取り扱いがわかる。 ③感染拡大の対応について考えることができる。 ④針刺し防止対策の実際がわかる。	予習	基礎看護技術Ⅱ第13章E、F、Hを読み、分らない言葉を調べる。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	無菌操作、感染拡大の防止の対応、感染性医療廃棄物の取り扱い、バイオハザードマーク、針刺し・切創の防止				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実施回	第5回	実施日	2026/05/18（月）	時限	3	班	
授業計画	感染防止の技術（3） 【ガウンテクニック・無菌操作】 ①個人防護用具を正しく着用できる。 ②基本に沿った滅菌物の取り扱いと無菌操作を習得する。 ③基本に沿った医療廃棄物の取り扱いができる。	予習	作成した援助計画（演習ノート）を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。				
		復習	講義・演習内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	無菌操作、必要な防護用具（手袋、マスク、ガウン、ゴーグル）の選択・着脱				
授業形態	演習	担当	○飯塚，北村，永井				

実施回	第6回	実施日	2026/05/18（月）	時限	4	班	
授業計画	感染防止の技術（4） 【ガウンテクニック・無菌操作】 ①個人防護用具を正しく着用できる。 ②基本に沿った滅菌物の取り扱いと無菌操作を習得する。 ③基本に沿った医療廃棄物の取り扱いができる。	予習	作成した援助計画（演習ノート）を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。				
		復習	講義・演習内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	無菌操作、必要な防護用具（手袋、マスク、ガウン、ゴーグル）の選択・着脱				
授業形態	演習	担当	○飯塚，北村，永井				

実施回	第7回	実施日	2026/05/25（月）	時限	3	班	
授業計画	苦痛の緩和・安楽確保の技術（1） ①体位保持（ポジショニング）の基本がわかる。 ②身体ケアを通じてもたらされる安楽の方法がわかる。	予習	基礎看護技術Ⅱ第5章A・Cを読み、分らない言葉を調べる。				
		復習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				

		キーワード	安楽の概念、ボディメカニクスの原理と看護実践への活用、安楽な姿勢・体位の保持、安楽を提供するためのケア、安楽を保つための療養環境の調整
授業形態	講義	担当	飯塚

実 施 回	第8回	実 施 日	2026/05/25 (月)	時限	4	班	
授業計画	苦痛の緩和・安楽確保の技術(2) ①罨法の種類・目的がわかる。 ②温熱・寒冷刺激が生体に及ぼす影響がわかる。 ③罨法の具体的方法がわかる。 課題③:内容、提出日時は授業内で提示する(5点)	予 習	基礎看護技術Ⅱ第5章Bを読み、分らない言葉を調べる。				
		復 習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	冷罨法、温罨法、乾性・湿性、温熱・寒冷刺激による効果、低温熱傷				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実 施 回	第9回	実 施 日	2026/06/01 (月)	時限	3	班	
授業計画	苦痛の緩和・安楽確保の技術(3) 【罨法】 ①基本に沿って安全に温罨法・冷罨法を作成する。	予 習	作成した援助計画(演習ノート)を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。				
		復 習	講義・演習内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	氷枕、湯たんぽ、CMC製品				
授業形態	演習	担当	○飯塚, 北村, 永井				

実 施 回	第10回	実 施 日	2026/06/08 (月)	時限	1	班	
授業計画	創傷管理技術(1) ①皮膚の構造や創傷の種類および治癒過程がわかる。 ②創傷の観察から早期に異常を発見する方法がわかる。 ③創傷処置の方法がわかる。 ④褥瘡発生のしくみや好発部位を理解し、褥瘡の予防方法がわかる。	予 習	基礎看護技術Ⅱ第8章A、Bを読み、分らない言葉を調べる。				
		復 習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	創傷管理、創傷の治癒過程、創傷のアセスメント、洗浄、保護、褥瘡の予防・処置、褥瘡の治癒促進、ブレーデンスケール				
授業形態	講義	担当	永井				

実 施 回	第11回	実 施 日	2026/06/08 (月)	時限	2	班	
授業計画	創傷管理技術(2) ①包帯法の目的・種類・方法がわかる。	予 習	基礎看護技術Ⅱ第8章Bを読み、分らない言葉を調べる。				
		復 習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	包帯法				
授業形態	講義	担当	永井				

実 施 回	第12回	実 施 日	2026/06/15 (月)	時限	1	班	
授業計画	排泄援助技術(1) ①排便を促すための援助がわかる。 ②摘便と浣腸の具体的な実施方法がわかる。 課題④:内容、提出日時は授業内で提示する(5点)	予 習	基礎看護技術Ⅱ第3章C、生活援助技術Ⅱの排泄援助技術の授業資料を読み、分らない言葉を調べる。				
		復 習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	自然な排泄が困難な人への援助、腹部マッサージ、腰背部温罨法、摘便、浣腸				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実 施 回	第13回	実 施 日	2026/06/15 (月)	時限	2	班	
授業計画	排泄援助技術(2) ①導尿の適応・禁忌・効果がわかる。 ②導尿の具体的な実施方法がわかる。	予 習	基礎看護技術Ⅱ第3章B、生活援助技術Ⅱの排泄援助技術の授業資料を読み、分らない言葉を調べる。				
		復 習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	導尿、カテーテル挿入の長さ、膀胱留置カテーテル				
授業形態	講義	担当	飯塚				

実 施 回	第14回	実 施 日	2026/06/22 (月)	時限	1	班	

授業計画	排泄援助技術(3) 【摘便・浣腸】 ①基本的な摘便および浣腸の実施方法を習得する。	予　習	作成した援助計画(演習ノート)を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。
		復　習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。
		キーワード	摘便、浣腸、浣腸時の体位
授業形態	演習	担当	○飯塚, 永井, 北村

実 施 回	第15回	実　施　日	2026/06/22 (月)	時限	2	班	
授業計画	排泄援助技術(4) 【摘便・浣腸】 ①基本的な摘便および浣腸の実施方法を習得する。	予　習	作成した援助計画(演習ノート)を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。				
		復　習	講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。				
		キーワード	摘便、浣腸、浣腸時の体位				
授業形態	演習	担当	○飯塚, 永井, 北村				